

## Interview

専門的な副業人材の伴走により、

商品開発や販売促進の課題解決に取り組む



代表取締役 村上 良一氏

— 副業・兼業人材活用の背景、きっかけについて教えてください

石川・富山県内で9店舗の飲食業を展開しています。数年前、コロナウイルスによって、飲食業界全体が大打撃を受けました。この状況を受け、飲食に左右されない新しい柱の必要性を感じ、副業や人材活用に目を向けました。

専門性の高いプロフェッショナル人材との連携に魅力を感じ、石川県の「副業人材の活用セミナー」に参加。石川県内の副業人材の取り組み事例から、その活かし方と取り組みポイントを学びました。

副業・兼業人材活用の導入は、コロナ禍以降の新しい柱づくり、物販のノウハウ・開発と幅広く、中長期的に取り組んでいきたい弊社にとって、メリットや効果が大きいと考えました。また、社員の士気を高め、明るい兆しを提供する手段としても重要でした。

— どのような人材をもとめていましたか

新しい事業の柱を作るために商品開発や販売促進が課題でしたが、商品開発や物販は未知の領域でしたので、専門人材の知見やアイディアなどの力を借りる必要がありました。そこで、先の「副業人材の活用セミナー」を通して出会った、協働日本に依頼しました。その専門のプロがチームを組んでプロ

ジェクトに参画するという点がとても魅力的で、実際に協働プロから3名の副業者が選ばれ、伴走していただきました。マーケティングと商品開発をされている方が2人、データ分析をされている方が1人、いずれも実績のあるプロ中のプロです。

— どのようにプロジェクトを進めていきましたか

プロジェクトは、協働プロの3名と私、物販全般、販促の担当者、商品を開発製造する製造部門の担当者で進めました。

月に4回、リモートでの打ち合わせを行いましたが、初回は3名に金沢まで足を運んでいただき、店舗や商品を見ていたうえで、物販事業に関連する商品アイデアを出し合い、議論を進めてきました。

最初は新商品の開発を目指しましたが、既存商品の改良に焦点を当て、試食用として提供していた「うどんスティック」を家族で楽しめる商品として販売することに決まりました。実際に3名もこの商品を試食し、その魅力を実感していただきました。

— 副業・兼業人材活用にあたり工夫したことや心掛けたことがあれば教えてください

従来の「うどんスティック」をブラッシュアップし、商品化する中で、コンセプト作りに時間をかけました。「パーソナ設定用のフォーマットを作りましたので、記入してください」というように毎週宿題が出されました。私たちは、日頃使わない脳を使

## 副業・兼業人材活用の背景

■ コロナ禍において、業績が落ち込み、社員のモチベーション維持が課題。そこで、新たな事業を模索し、物販事業に注目したが、自社内の商品開発や販売促進のナレッジはなかった

## 副業・兼業人材の業務内容

## 依頼内容

副業プロ人材3名のサポートの元、新しい事業の柱の構築  
業務委託契約  
1年(継続中)  
約20万円/月

※2025年1月現在

## Results

## 人材活用の成果

- 「うどんスティック」をブラッシュアップして、「ポリポリさん」を開発。月販ベースの売上個数が約5倍近くに伸張している
- 「ポリポリさん」の売上個数が伸びることで、社員はもちろん、店舗で働くスタッフの活性化にも一役買っている

## 事例紹介



新しい事業の柱として物販を強化。既存の「うどんスティック」をブラッシュアップし、開発された「ポリポリさん」。平打ち麺と細麺の2種類を楽しめ、ポリポリとした食感が特徴。「めん房 本陣」の大桑店、高柳店、野々市店、東力店、白山店、砺波店で販売中。

## 事業紹介・会社紹介

株式会社味一番フードは、創業約50年のうどん・蕎麦を中心とする飲食業を営む老舗企業。自家製麺にこだわり、「めん房 本陣」を石川・富山県内で7店舗、「そば処 花凜」を石川・富山県内で2店舗を展開。「3世代の食空間の提供」を大事にしている。



## 会社概要

## 株式会社味一番フード

所在地／石川県金沢市久安2-334

代表者／代表取締役 村上 良一

電話番号／076-245-3118(代表)

従業員数／社員20名、パート・アルバイト250名  
(2025年1月31日現在)